

80. 黒崎神社本宮

勘請年: 嘉祥二年祠を創建、承安二年に神様を勘請

ご祭神:息長帯姫命





8 1. 荷渡神社

神木: サクラ、マツ、スギ





82. 金毘羅神社 ご祭神:金山毘古命



8 3. 蛇ヶ崎神社 ご祭神:豊玉姫命 神木:マツ





8 4. 八幡神社

(勘請年:至徳二年)

ご祭神:品多別尊、息長帯比売命、吡咩大神、市寸島比売命

神木: サクラ、ツバキ、モミ



85. 天照御祖神社



8 6. 太子殿





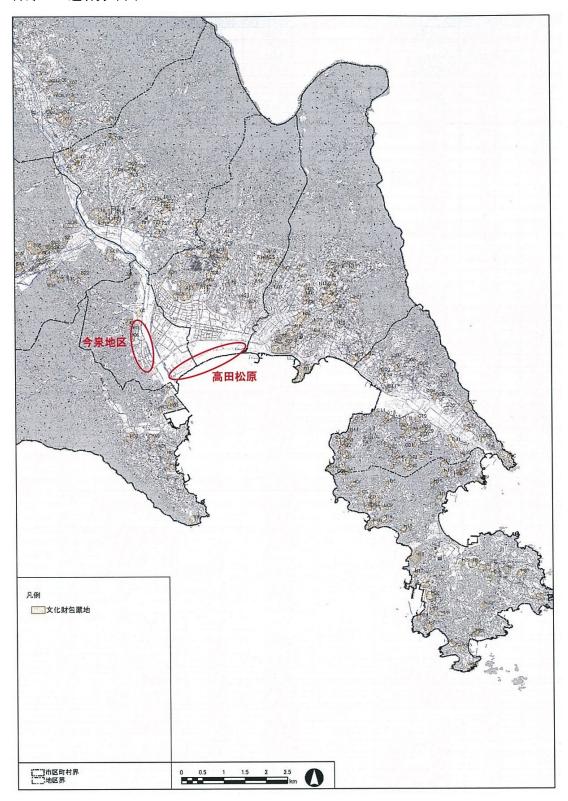
87. 金毘羅神社(被災)





88. 熊野神社(被災)

付録2 遺跡分布図



文化財包蔵地区域

資料) 2002 年岩手県遺跡情報検索システム (岩手県教育委員会事務局)

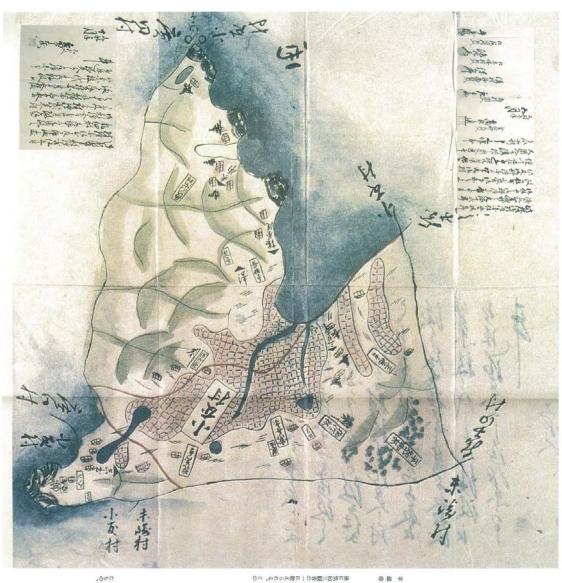
ラベル	地区名	遺産名	種別	時代	概要
A01	高田	鳴石	散布地	縄文	
A02	高田	西和野	集落跡	縄文	縄文土器、土師器、須恵器
A03	高田	西和野 I	散布地		土器
A04	高田	栃ケ沢	貝塚		
A05	高田	西館	散布地		土器
A06	高田	八幡館(高田城)	城館跡	中世	主郭、二の郭、空堀、腰郭
A07	高田	西和野Ⅱ	散布地	縄文	土師器
A08	高田	瓜畑	散布地	縄文	1 4 = 00
A09	高田	中和野I	散布地	2m	土師器
A10	高田	中和野耳	散布地	縄文	
A11	高田	中和野皿	散布地	縄文	
A12	高田	太田	散布地 散布地		→ 22 元 12
A13 A14	高田高田	洞の沢 古泉館(東館)	城館跡	中世	土器、石器、貝塚 空堀
A14	高田	下和野	集落跡	中區	
A16	高田	山苗代	散布地		土師器
A17	高田	豆の通	金吹跡		土器、土師器
A18	高田	荒沢 I	散布地		土師器
A19	高田	大隅 I	散布地		土師器
A20	高田	荒沢Ⅱ	HX 1117E	縄文	縄文土器(後期)
P-FQ-			散布地•		THE STATE OF THE S
A21	高田	飯森場(花館)	城館跡	中世	
A22	高田	小泉	集落跡	平安	須恵器、土師器
A23	高田	小森前	散布地		
A24	高田	貝畑	貝塚	縄文	土師器、須恵器
A25	高田	大隅Ⅱ	散布地	縄文	縄文土器、土師器
101	今泉	陣ケ森	散布地·	中世	空堀、腰郭
I01		1.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0	城館跡		—
I02	今泉	神崎	散布地	縄文	縄文土器
I03	今泉	東館(今泉古館)	城館跡	中世	空堀、腰郭
I04	今泉	廻館	城館跡		A 1 4 1 5
I05	今泉	中井	散布地		合矢製品
I06	今泉	館ケ脇館	城館跡	中世	空堀
S01	下矢作	内館(鶴崎館)	城館跡	中世	平場、空堀、主郭、二の郭、腰郭
S02	下矢作	寺前Ⅱ	散布地	縄文	縄文土器
S03	下矢作	観音寺	散布地		土器、石器
S04	下矢作	神明前I	集落跡		土器、大泉?
S05 S06	下矢作	外館	城館跡	中世	空堀、土塁、三段腰郭 空堀、腰郭
S07	下矢作 下矢作	古館(倉主館) 寺前 I	城館跡 集落跡	縄文	至堀、展邦 縄文土器(晩期)、土師器、石棒、石剣
S08	下矢作	型館 回館	城館跡	中世	平場
S09	下矢作	味米	为人民日四小	TE	
White and			集落跡・		
S10	下矢作	東角地館	城館跡	縄文・中世	縄文土器、土師器、カブト、人骨、空堀
S11	下矢作	小山館	城館跡	中世	土塁
S12	下矢作	打越	散布地		土器、石器
S13	下矢作	片地家館(古館·高屋敷)館)	城館跡	近世	空堀
S14	下矢作	古館	城館跡	近世	
S15	下矢作	神明前Ⅱ	集落跡	縄文	縄文土器
S16	下矢作	外道尻 I	散布地		土器、石器
S17	下矢作	外道尻Ⅲ	集落跡		土器、磨製石斧、石棒
S18	下矢作	外道尻Ⅱ	散布地	縄文	縄文土器
S19	下矢作	番館	城館跡	中世	
S20	下矢作	湯漬畑	窯跡	AP -L	土器、焼成台、須恵系赤焼陶器、灰果、スリバチ
S21	下矢作	山谷耳	散布地	縄文	縄文土器
S22	下矢作	山谷I	集落跡		土器、石斧、磨石、石鏃
T01	竹駒	下壷Ⅱ	散布地	縄文	フレーク
T02	竹駒	壷	散布地	縄文	縄文土器(晩期)
T03	竹駒	壷館(竹駒城・坪城)	城館跡	近世	空堀、主郭、腰郭
T04	竹駒	新田以	散布地	縄文	
T05	竹駒	新田皿	散布地	₩	土器、壷、石鏃
T06	竹駒	新田耳	散布地	縄文	縄文土器
T07	竹駒	北平	#r // +⊔	縄文	縄文土器
T08	竹駒	新田 I 上壷 II	散布地散布地	縄文	石鏃 縄文土器
T10	竹駒 竹駒	上重 I	散布地	縄文	縄又工器 土師器
T11	竹駒	下童 I	HX1111E	縄文	工即番 縄文土器
T12	竹駒	館	散布地	小电 入	土器、壷、いろり跡
LIIZ	11周円	「日	I HX III VIII	1	一一中に、里、いつう四

ラベル		遺産名 遺産名		時代	概要
T13	竹駒 竹駒	細根沢石塚 和野	塚 散布地	縄文	積石塚一基 縄文土器、土偶、石棒、石槍
T15	竹駒	型見洞 111111111111111111111111111111111111	散布地	X945	土器、土師器、青銅鍋
T16	竹駒	古館(府本館)	城館跡	中世	空堀、主郭、腰郭
T17	竹駒	上細根	散布地	縄文·弥生	
T18	竹駒	仲の沢 I	散布地	縄文	
T19	竹駒	滝の里館(花輪館)	城館跡	近世	腰郭
T20	竹駒	滝の里 I	散布地	縄文	
T21	竹駒	滝の里Ⅱ	散布地	弥生	土師器
T22	竹駒	金山館	城館跡	中世	
T23	竹駒	坊寺	集落跡	4m →-	
T24	竹駒	仲の沢耳	散布地	縄文縄文	須恵器、石器
T25 T26	竹駒 竹駒	相川 I 下沢 I	散布地	縄文	2月芯46、1146
T27	竹駒	下沢I	散布地	縄文	
T28	竹駒	相川耳	散布地	縄文	
T29	竹駒	細根沢	散布地	4-02-5	土師器、須恵器、フレーク
K01	長部	水上	散布地		土器
K02	長部	上長部館	城館跡	中世	空堀
K03	長部	牧田貝塚	貝塚		土器、アサリ、ハマグリ、イボニシ、レイシ
K04	長部	双六塚	祭祀跡		
K05	長部	要谷館	城館跡	近世	主郭、腰郭
K06	長部	福伏	散布地	縄文	縄文土器、石器
K07	長部	二日市貝塚	貝塚		縄文土器、カキ、ハマグリ、インダタミ、イポニシ
K08	長部	JI D	散布地		土器
K09	長部	二日市館(八幅館·鵜飼)館)	城館跡	中世	主郭、腰郭、空堀、二の郭
N01	米崎	野沢I	散布地	縄文	土師器
N02	米崎	野沢Ⅱ	散布地	縄文	土器、土師器
N03	米崎	野沢皿	散布地 城館跡	中世	空堀
N05	米崎 米崎	中山館 野沢IV	散布地	縄文	全機
N05	米崎	地竹沢Ⅱ	散布地	1 12	土師器
N08	米崎	地竹沢 I	散布地	縄文	縄文土器、土師器、フレーク
N09	米崎	松峰Ⅰ	散布地	4002	土師器
N10	来崎	松蜂Ⅱ	散布地		土器、石器
N11	米崎	米崎城(浜田城)	城館跡	中世	空堀、腰郭、土塁
N12	米崎	佐野I	散布地	縄文	縄文主器
N13	米崎	佐野 II	散布地	縄文·弥生	土師器、フレーク
N14	米崎	佐野皿	散布地	縄文	土師器
N15	米崎	佐野Ⅳ	散布地	ļ	土師器
N16	米崎	高畑I	散布地	-	土飾器 土器
N17	米崎	高畑 II 佐野 V	散布地 散布地	 	上 師 器
N18 N19	米崎	川内	集落跡	縄文	縄文土器、チップ
N20	米崎	中陣(高木城・日高城)	城館跡	中世	平場、空堀
N21	米崎	一起館(一騎館)	城館跡	中世	二郭
N22	米崎	川崎	散布地		
N23	米崎	神田	散布地		土師器
N24	米崎	脇沢館(島崎城)	城館跡	中世	空堀、主郭、二の郭
N25	米崎	川西	散布地	縄文	フレーク
N26	米崎	中島	散布地		to get bld.
N27	米崎	堂の前貝塚	集落跡·貝塚	縄文	フレーク、石鏃
001	小友	金浜	散布地	AID 1	土師器
002	小友	岩井沢	集落跡	縄文	フレーク、土師器、須恵器、石鏃、蕨手刀
003	小友	両替 I	散布地	AM -t-	土器、土師器、かまご跡
004	小友	両替 I	散布地	縄文	フレーク フレーク
005	小友	西之坊 中西 I	散布地	縄文	土師器
O06	小友 小友	中西耳	散布地	縄文	縄文土器(後期)
007	小友	後谷地	散布地	1 NO.	土器
009	小友	両替館	城館跡	中世	主郭、空堀
010	小友	松山前	集落跡	 	土器、土師器
011	小友	三日市	集落跡	縄文	土師器、縄文土器
012	小友	鳥嶋Ⅲ	散布地		
013	小友	鳥嶋II	散布地		土師器
014	小友	鳥嶋I	散布地		土師器
015	小友	塩谷I	散布地	縄文	(AT 00
016	小友	塩谷Ⅲ	散布地	縄文	土師器
017	小友	塩谷II	散布地		土師器
018	小友	小屋敷	散布地		石核、剥片

「ラベルー	地区名	遺産名	種別	時代	概要
019	小友	浦の前	散布地	縄文	石核、剥片
020	小友	財当	散布地	縄文	縄文土器、チップ
021	小友	内館	城館跡	中世	段
022	小友	獭沢貝塚	貝塚	縄文	石棒、石斧、骨類(魚、獣類)
023	小友	矢之浦Ⅱ	散布地	縄文	土師器
024	小友	獺沢 I	散布地	縄文	
O25	小友	類沢Ⅱ	散布地	縄文	
O26	小友	獺沢Ⅲ	散布地		内黒土器
027	小友	沢辺Ⅱ	散布地		土器、石鏃
028	小友	森崎I	散布地		土師器
029	小友	森崎Ⅱ	散布地		土師器
030	小友	森崎皿	散布地		上師器、須恵器
031	小友	腰廻 I	散布地	699-4-	土師器
032	小友	- 腰廻Ⅱ - 中里Ⅲ	散布地	縄文	土師器
033	小友		集落跡	om→-	
034	小友	沢辺I	散布地	縄文縄文	 土師器
035	小友 小友	中里 I 中里 I	散布地 散布地	縄文	
O36	小友	門前貝塚	貝塚	縄文	 縄文土器、フレーク、貝殻
038	小友	谷地館	城館跡	和人	土器、フレーク、貝及
039	小友	小ケロ	数布地		江部、フレーク 須恵器
040	小友	・ パブロ 蛇ケ崎城(谷地館)		中世	次応報 空堀、腰郭、平場、主郭、二の郭
041	小友	新田	散布地	一十匹	皇成、接邦、平場、王邦、二の邦 須恵器、土師器
042	小友	腰廻皿	散布地		土師器
042	小友	腰廻Ⅳ	散布地	縄文	
044	小友	- 限度IV - 矢之浦 I	散布地	縄文	
045	小友	<u> </u>	散布地	縄文	縄文土器、骨貝類
046	小友	腰廻 V	散布地	縄文	oex_mr, n,xx
		7,517-	散布地・		
047	小友	長茂館(眺館)	城館跡	縄文•中世	
H01	広田	長洞	散布地	縄文·弥生	
H02	広田	長根洞 I	散布地	縄文	PEA _ W
H04	広田	船荒	散布地	縄文	縄文土器(後期初頭)
H05	広田	柏崎	散布地	縄文	1-5×= 41 (1×/4) 1/3×2/
H06	広田	大陽里 I	製鉄跡	WEX.	のろ(製鉄所?)
H07	広田	大陽台貝塚	貝塚	縄文	石器
1108	広田	大陽貝塚	集落跡·貝塚	縄文	石鏃
H09	広田	大陽里Ⅱ	製鉄跡	縄文	
H10	広田	大陽崎	散布地	100	製塩土器
H11	広田	袖野 I	散布地		フレーク、石鏃、石匙
H12	広田	袖野 II	散布地		チップ
H13	広田	小屋敷	散布地		土師質土器、陶器
H14	広田	越田	散布地	細文	縄文土器、原石、剥片、貝殻
H15	広田	赤沼	散布地	縄文	縄文土器(後期)
H16	広田	高館	城館跡	中世	空堀、主郭、腰郭
H17	広田	泊	散布地	縄文	縄文土器(後期)
H18	広田	小館	城館跡	中世	郭
H19	広田	中沢	散布地	縄文	
H20	広田	中沢浜貝塚	貝塚	縄文	縄文土器(中期)、石鏃、石斧、骨角器骨類
					(魚、獣類)
H21	広田	平畑	散布地	縄文	縄文土器
H22	広田	花館	城館跡	中世	が のは2 のできな - 大切
H23	広田	平館	城館跡	中世	空堀、腰郭、主郭
H24	広田	久保貝塚	貝塚	縄文	縄文土器
H25	広田	内田	散布地	縄文	縄文土器
H26	広田	八幡館	城館跡	中世	郭、平場
H27	広田	40 4.*	散布地	縄文	縄文土器
H28	広田	根崎	散布地散布地	縄文	縄文土器
H29 H30	広田	胡畑	100000	縄文縄文	 縄文土器
	広田	蒲田 士知	散布地	神火	视入上谷
H31	広田	大祝	散布地		
H32 H33	広田	黒崎	集落跡		
H34	広田 広田	岩倉 金室	散布地		土器
I 1134		集	散布地	-	土器
			i mx an ma	1	-L-107
H35	広田			ф#	空間
H35 H36	広田	東館	城館跡	中世	空堀
H35				中世	空堀 トップ

出典) 2000 年岩手県遺跡情報検索システム (岩手県教育委員会事務局)

付録3 気仙郡村絵図 (陸前高田市域)



同 展田共作人 治を土門の東西村野人

O MINE >型進步

資産高額有財命に第十萬件 白溪臺灣科中四部工業場合

> (現陸前高田市小友町) ■小友村

後に独立三脳音の一に飲えられる。この常報店自の開発。 定額店中は就言表で、定額店印の開展。 変には十一面観音(高さ巻丈=三メート・支腕のほか、報音室と見える。 の眼音え、正過音、常顕寺、花(集)顕寺等の 村の北東には平恒山御林、御竹林が見

自の企業とは年旬の山田原本、即行教が危険でした。 大二)に亡んだられる。 自然をともられて五年年 (三五七三)工工 は良利福配書棚であった。東側は、最高氏(約大五、五メートル)の規模で、城主主国(四五五メートル)、衛忠三十十四郎(四五五メートル)、衛忠三十十四郎(四五五メートル)、衛忠三十十四郎(四五五、七、昭・略がら端と帰ばれ、東西三十十四郎(日本、松・路線と帰ばれ、東西三十十四郎(四十四十十四郎)、 の業務が見えるが、只出の蛇ケ崎には古女ノ浦、澤、塩富赤、只出、三日市等

ている。
をもが、これは婚的でも高い数字を示しるので、天保郷後には子三百二十一百余子人)頃で、宮三十二寅(約一三二〇石)三三〇石)に同日、村の土産高は元禄十一年(一六九 金属十二年 (一七大三) 切の戸敷は物産を進生された。 西は落曲して共に痛に固している。 に乗して広田村に接しており、東は実出 本村は北は野木田、末崎村、南は鉄の

吉田 字を発門 面 大野人

> 相通粉失不申據粉末可申 候条関り代之郡後役任 煮終機額指因 4 付写取相談 々江客衛群結図自写取相 不改使而并指因培未之并

小友村



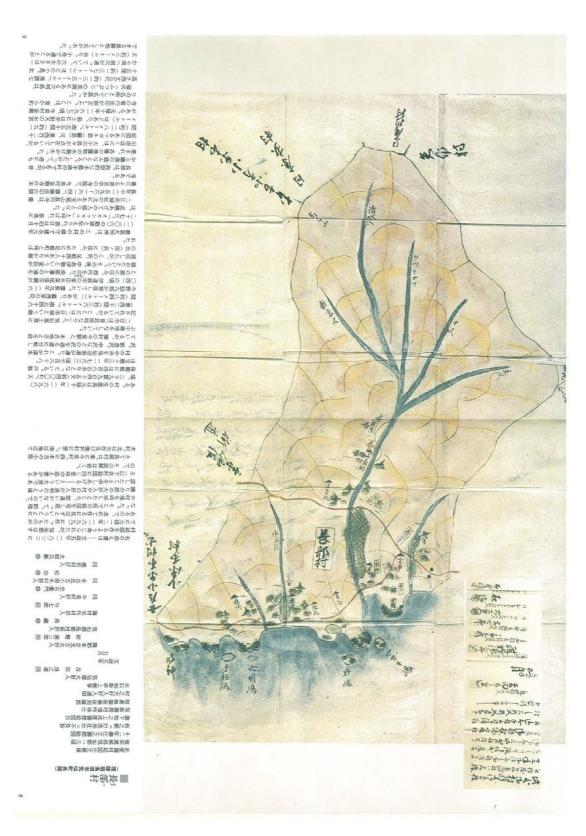
			西口宫斯曾渐渐设计	2	0	BERN:	E E
同人り後期代都在と門立合城			1	0	力施工	33	
		**	名と通山林橋目校山道		0	神田城	画
0	MAN	B	Dif		(3	田成風	30
			大野人		0	国際信	E #
0	十成底	防	逐		0	南北縣	20
20	の間と問め	BiS;	キートを整		0	郡太郎	38
0	中参照				0	器因器	30
	B) 3	gE-	医红斑火物		9	3 整把	20
49	不動院				0	3HR	JT 389
		885	北京政治		Ф	四級紅	300
0	単次は				0	·农施町	田 田
			建立工 国		0	伊人部	300
0	田郷田		圓		0	非国際	30
0	砂坑鄉		22		8	表出版	3
0	CREE	T	.33		0	商任	30
		留	毎日其へも		0	24 4	30
0	(成器)	+			0	佐川縣	23
			医性罪人		8	报品	3
0	正规定						主製工へも歴
		- 3	20日本本書				200
(3)	温料料器	4					型性性性
			四件件人				無額接換以上
(8)	西州田	F	画				祭分共 (当者共享の政団
0	特四部		36			E	右独図を通り上山井七郎
8	提十點		JEI .				
		组	梶田共へも				
0	台施門						(監督抵減田市宅報告)
			原式岸景				
0	海が西		E				MI 275

成田 悪 早 大 埠 水市原 大 埠 水市原 武 田 新三郎

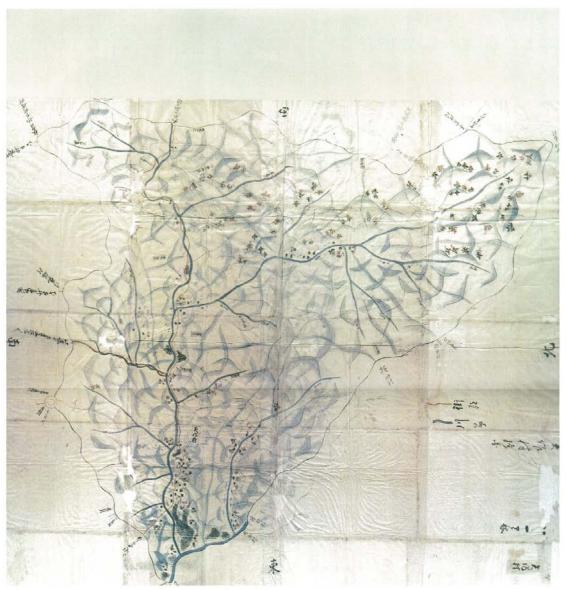
これでは(統治領土群)。

4

竹駒村



長部村



(現際前高田市矢作町) ■矢作村

生出が鉄の産地なら、営民は金の産地 生出が飲の産品でき、恵民はの原理を全職を行って、恵民は全職を行って、一般の関係を作り出り、ためけて主教を作り出り付け、その際にて生活というない。 との際にて活動の内閣に同じ、自己を申し、食用物の内、行為もり、以、行為もり、現実の主義について、日間の関係かの内に、「ここの国表かの内にして、東海上参加

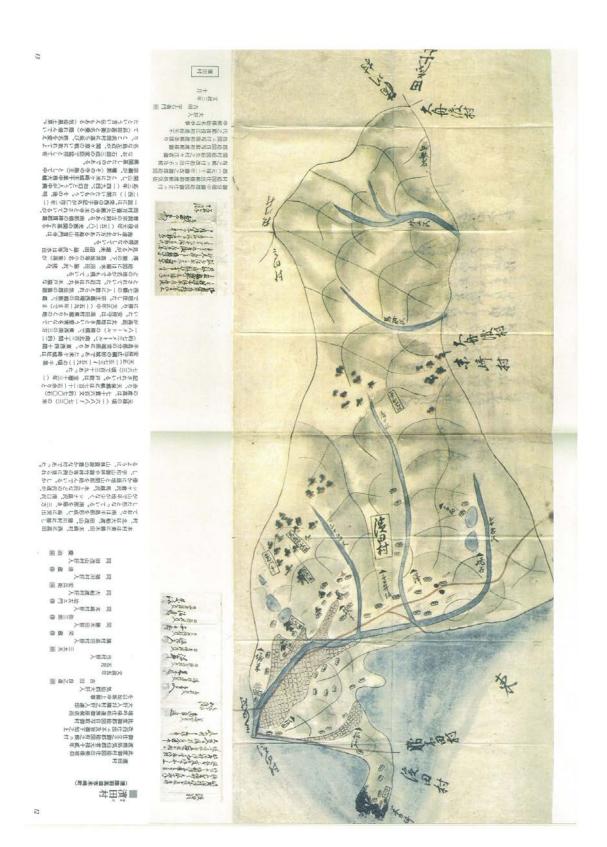
ある。 あるが、気地圏土草に欠のような記載があるのが、気が関いては、は、は、は、は、は、は、は、は、は、の地のの関係で、同じく、真色の医手直接機の関があった。 の魅かあり、神明系には、外側と称する。 は関すして、なり、なり、なり、なり、というなどのできません。 するなど、というなどのできません。

らる。の問題によるもの。今年の金曜寺門中で旬年中(二大一五~一六二三)、仁幹在印となった。後年山門城寺は真宮宗で、元

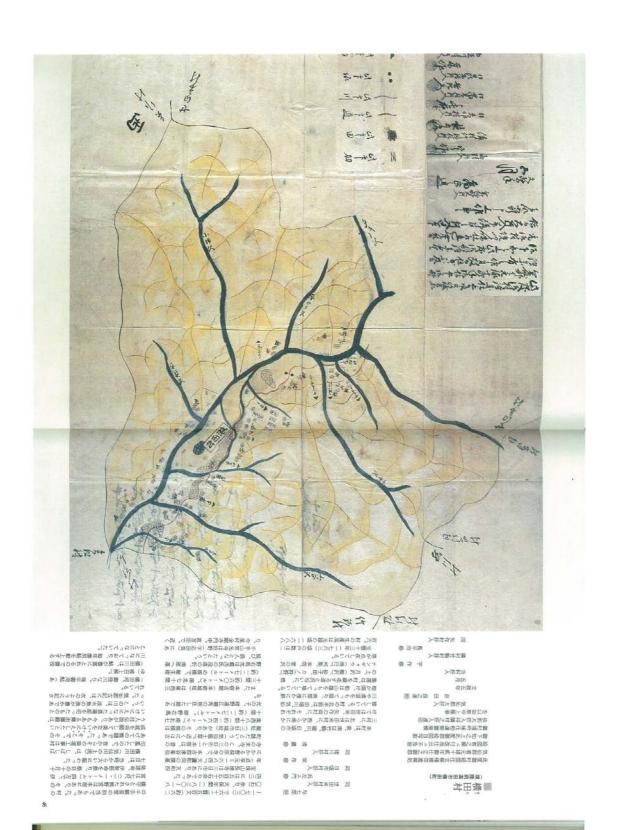
版を称し、その程序がある。 の底、小様を他に関目した。只ちを関連に対した。これを図載を出かります。この他の近くに、実施ののの所でもった。 の種の近くに、実施のつるに、 自動を重け、 (名三十十二大 (四三十十八大 (四十十八大 (四十十八 (四十八 (四十八 (四十八 (四十八 (四十八 (回十八 (四十八 (回十八 (回十八 (回十八 (回十八 (回)) (回)) (四十八 (回)) (四十八 (回)) (回)) (四十八 (回)) (回)) (四十八 (回)) (

to

矢作村



濱田村



横田村

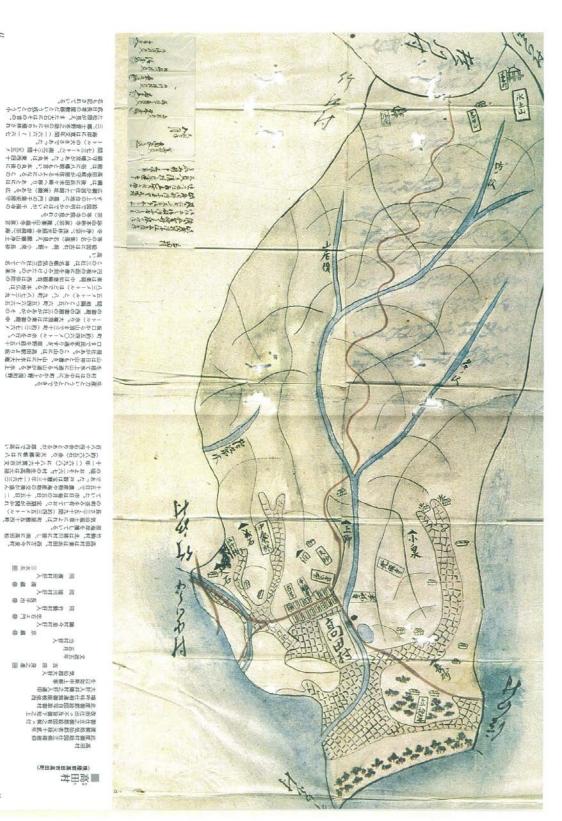


1一九、治療氏縁腹した。 の人気が適じめったが、要食土団年(1 なお、葡萄原(他行成を)は大い子屋 なお、葡萄原(他行成を)は大い子屋 た。全種生産力を見て後された。 (1つ1大~1つ1世代) 最終年の日本 経営土出物展在を包入、実体中の が、他型の場合としていったのである。 から、他型の場合としていったのである。 またの上間をあるというなのかののである。 関の山腹底につれる成と一直破につるので 関の山腹底につれるがある。 関の山腹底にしたのがある。 関の山腹底にしたのがしたのがある。 関係ははいる間の食を関係がある。 関係ははいる間のの間の食を関係がある。 要素されるの間の食を関係がある。

高業本は内部領別を機能との、成果を含め、成果を含め、大学のでして、その場より、高型を一般のでは、高型を一般(一名区間域との、高型を回路との、大学の日間とも呼ばれたが、天正年の日間の、「日本の一般を表現して、「中心」というには、日本の一般を開発して、日本の一般を開発して、「大人とって、」といって、大人といいい。

くから知られている。 禁止されていた。後週の製剤をとして早期とされていた。次人の品を含ることは当業を見たした。またまが、日本とかり、自文を生まれているので、こうから、見上は手って立るので、これにはもって立る数字であって、同人により、いいい、日本のようなである。自己のアイトが、これのうくと、自人の方もなり。自己の日本のののでは、自己の日本のものから。自己を含みませる。自己を含まれて、同じトートルである。自己を含まれてある。自己を含まれてある。

(現象病毒用市広田町) 【 人田村 人田村



(最級性減田佐減田智) 単点田村

三大夫 國際田村科人

ままれる 田 食之道 国 気心郷 国 気心器大野人

成平的 卷

0 8 0

10

| 発出共作人

区 杓壁花群人 京 作権以下人 空石土門 命 職材今泉村作人

ン電車は

交換出策

17

高田村



大田田田大田田 金属は単

文章氏手 吉 田 段之進 気仙郡大評人 を反如解申上破事 佐南大肝人林原村之群人連印 御村場吟味仕相進無關座教

> (現態能高田市気仙町) ■令泉村

の町屋敷に七十一年、町の基立が大町十名。そして今東は田駅でもあり、中心節をで、大田園 が置かれていたのであれられるである。 内の行政、財政、司を等の事業を取得する。 代書の際派を合いたいいて、観見三年(1五九八)以来、明治に至る

を受けます。「は、利用となる」のである。「は、自己を受け、「最級格代におりの総数のとした。「他ののでは、「他ののでは、「なるを考えない」という。 別を出ていたので、対名を考えない。 対のも方の表記といいる。 の目ればいいた。」との関係を提出している。 のは、は、日の同様ののは、これの関係を提出した。 のは、これの関係を提出した。

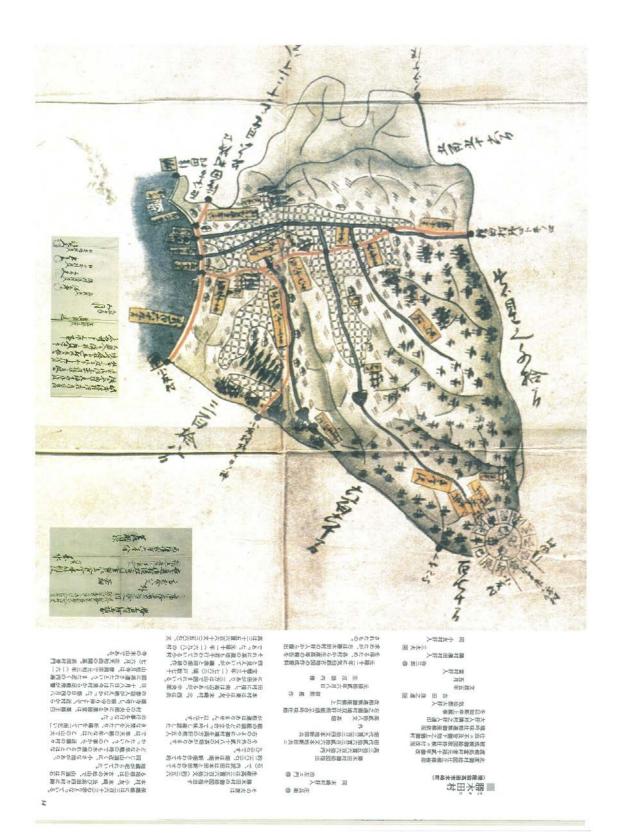
の利用の表別には、対してある。 原材、商は長部村に接している。 郡中等 田村、北は朱作、竹駒村、西は朱作、長 本村は広田県の害之岸をもめ、東は高

長宇治 同 竹駒村評人

古郷は、長郎雄主今野助九郎の支城。

回腸のれていた。 であられた日が大日の月三 でお日が入日、十九日、二十九日の月三 大同(約大八四・1九) あった。ここ

今泉村



勝木田村